



▲力強く第1声。気合が入ります。



▲いつもの城内スタイルで街宣中。晴天なんですが、とにかく寒かった・・・。



▲仲間の応援に入りました！

得票率70.93%、13万2698票を獲得

力強いブーイング支援
ありがとうございました！



自由民主党静岡県 第7選挙区支部

平成26年11月21日、安倍晋三総理大臣は衆議院を解散、12月2日公示、12月14日を投票日とする第47回衆議院総選挙に打って出た。突然の年末解散はまさに想定外のものであり、与野党問わず準備に追われた短期決戦の選挙となったわけだが、安倍総理側近の一人として知られる城内実氏（静岡7区）は安定した戦いを繰り広げた。永田町番記者は城内氏に今回の選挙について聞いた。

たためであり、この判断の是非について国民の信を問うためとしてのものでした。
―任期を2年残しての解散に
対し、「今選挙をしている時期ではない」、「景気対策が先だ」という批判が多かったことから、当初は劣勢が伝えられた
自民党でしたが。

―突然の解散劇ではありませんが、城内代議士は、普段の地域後援会活動の成果と、業界・団体の支援を手堅く固めて、総選挙戦を有利に展開しましたね。
―いただいた応援要請に基づいて、選挙期間中に仲間の後援候補16名の応援に出向き選挙区を離れることもありましたが、民主党候補者に約10万票の大差をつけた13万2698票も頂けたのは、支援者のみなさまのおかげです。
―支援者の皆さんに一言ください。

―おかげさまで4度目の当選を果たすことができました。12日の選挙期間中、5日間後援候補の応援で選挙区を離れるということがあったにもかかわらず、寒風吹きすさぶ中、私に成り代わって力を発揮して戦ってくれた支援者の皆さんに心から感謝申し上げます。

―これからも、おごらず謙虚に
ていねいに、地域の代表として、
国民の代表として、全力で頑張
っていきます。今後ともご指導
ご支援の程、お願い致します。
―ありがとうございました。

第47回衆議院議員総選挙（平成26年12月14日） 静岡県第7選挙区 小選挙区開票結果

候補者名	党派	得票数	得票率
城内 実 自民		132,698	70.93%
松本 泰高氏	民主	37,654	20.12%
野澤 正司氏	共産	16,743	8.94%

有権者数 327,260 人 投票者数 191,264 人 投票率 58.44%

最新情報はこちら！ 城内みのるオフィシャルサイト

携帯電話でもご覧いただけます

<http://www.m-kiuchi.com>



国民の声、地域の声を国政へ



▲第3次安倍内閣でも引き続き外務副大臣に。(4列目右から3番目)



▲役員を務める「郵便局の新たな利活用を推進する議員連盟」総会にて。ゆうちょ・かんぽの限度額見直しと過疎地などにおける郵政事業の重要性を力説。



▲静岡県と愛知県を結ぶ三ヶ日豊橋道路改築に向けて、湖西市・豊橋市・国原市合同で予算要望書を太田国土交通大臣へ提出。平成26年度補正予算で13億2000万円が確保されました。



▲評論家で有名な金美齢先生宅で行われた懇親会に参加。安倍総理大臣をはじめ、参加者のみなさんに地元特産の三ヶ日みかんを振舞いました！

外務副大臣として世界を東奔西走！

安倍総理の提唱する「地球儀を俯瞰する外交」をサポートすべく、世界を駆け巡る城内外務副大臣、外務政務官として21カ国、外務副大臣として早7カ国を訪問しています。

出張先のドイツでメルケル首相と

サルグシャン・アルメニア大統領と。アルメニアへの外務副大臣の訪問は初、日本外交の新たな1ページを開きました。

シャリホフ アゼルバイジャン副首相と会談

日本外交を世界に発信！

2月6日から8日にわたって開催された第51回ミュンヘン安全保障会議に出席、同会議は、安全保障における「ダボス会議」ともいえる会議で、城内副大臣はパネルディスカッション「太平洋の地政学」に参加し、アジア太平洋地域が直面する安全保障上の課題と積極的平和主義に基づく日本の取り組みについてスピーチしました。

第1セッションのパネリストとして、地域的協力枠組みの強化や「法の支配」促進の重要性を強調

会議終了後、参加者と挨拶を交わす。



▲登院すると多くのマスコミに取り囲まれる城内代議士。今後の注目株だ！



▲登院板に掲示されている「城内実」のボタンを押しました。

安倍外交の大きな特色は2つあります。第1は、アベノミクスを推進し、力強い成長を達成するための経済外交の積極的展開です。トップセールス外交と称されるように、現在安倍総理は長引くデフレを脱却するために、日本の技術を世界に売り込む方針を示し、特にインフラ輸出の受注額を2020年までに現在の10兆円から3倍の30兆円に増やすとの目標を掲げ、また企業の国内投資を喚起する環境づくりに意欲を見せています。

第3次安倍内閣において、引き続き外務副大臣を拝命致しました。安倍晋三総理は、就任以来「地球儀を俯瞰する外交」を標榜し、今までの総理が経験したことのないくらい世界各国を歴訪、国際協調主義に基づく積極的平和主義を具現化しています。総理の外国訪問国数は実に54カ国・地域（平成27年1月23日現在）に及び、また岸田外務大臣につきましても35カ国・地域（同）となっております。

平成26年12月24日、第188回特別国会が召集された。4回目の当選を堂々果たした城内実代議士は10時30分に初登院、国会での新たな一歩を踏み出した。翌25日に組閣した第3次安倍内閣では外務副大臣に留任。

国家の課題が山積する中、今後の活躍が期待される城内副大臣が、今後の安倍外交について詳細に語った。



▲多くのマスコミが見つめる中、衆議院事務局の女性に議員バッジを付けてもらっています。

各国を歴訪しています。

第2は、先進主要国のみならず、発展途上国にまで目を向け、きめ細かい外交を展開していることです。実際、アフリカのコートジボワールや中東のジブチ、南米のトリニダード・トバゴなどは、日本国総理大臣の訪問は初、またバブアニューギニアやスリランカ、オマーンなどは20年以上ぶり、アルゼンチンに至っては54年ぶりでした。こういった外交攻勢を補完する形で、私も外務政務官時に21カ国、そして昨年9月の外務副大臣就任から今日まですでに7カ国（平成27年2月11日現在）を訪問しています。

その訪問先は、ドイツやタイ、インドなどの主要国もさることながら、安倍総理と同様、エリトリアやアゼルバイジャンなど、今までの日本外交において関わりが薄かった国々もあり、それだけに一つひとつの訪問が極めて重要かつ画期的な位置づけであったとの評価を頂いております。

特に本年1月に訪問したアルメニアは、同月に大使館を開設したばかりであると同時に、外務副大臣の訪問は初でしたので、日本外交の新たな1ページを開いたと自負させていただきたいと思っています。

これからの日本外交は、国益の確保増進と世界全体の利益の増進を基本概念として、これまで築き上げたネットワークや実績を土台に、日本の立ち位置を強化する国際政治・国際世論の流れを作り出す外交を展開していく方針です。

戦後70周年という節目を迎えて、戦後70年間にわたる平和国家としての歩みを明確にするとともに、今後とも世界の平和と繁栄に貢献する姿勢を大いにアピールしていきます。

【まとめ】国際社会における日本のプレゼンスの強化と、幅広いネットワーク構築に向けた城内外務副大臣の活躍に期待するところ大です！

城内みのる。4度目の初登院 国会での新たな一歩を踏み出す！



△西村明宏国土交通副大臣に地図を示しながら陳情

1月31日（土）夕刻、佐久間町の原田橋付近で土砂崩れが発生、橋が谷底に崩落し、橋の上で現場の監視に訪れていた浜松市職員の方お二人が亡くなりました。危険な場所での公務中だったお二人のご冥福を心よりお祈りいたします。

土砂崩れの一報を受けて、直ちに佐久間町関係者及び鈴木康友浜松市長と連絡を取り、情報を共有してすばやく対応をしていくことを確認、明朝には中谷多加二県議、大見芳市議等と共に現場を視察し、その場で西村明宏国土交通副大臣に電話で状況を説明して、国の早急な対応をお願いしました。

2月3日（火）には東京にて

現場へいち早く



△原田橋崩落現場写真（城内実撮影）

国土交通省の担当者との協議をし、①橋はもっと下流にあったほうがいいのではないかとこの地元意見を多く聞いた、②橋を架ける位置の変更は可能なのか、③う回路が70キロ以上あり2時間かかる、④緊急災害復旧とてほしい、⑤緊急災害復旧という事で予算拠出をお願いしたい、旨を伝えました。

また、2月17日（火）には西村明宏国土交通副大臣のもとを訪れ直接陳情、同副大臣より、周辺地域の皆さんの意見を基本に、皆さんの不便を解消するため、浜松市と相談連携しつつ、迅速な対応をする旨の発言がありました。

城内実 略歴

（きうち・みのる）1965年4月19日生まれ。49歳。東京大学卒業後、外務省に入省。在ドイツ日本国大使館勤務。天皇陛下、首相らのドイツ語通訳官を経て、2002年に退官。地元の自民党支部長公募に応募し、03年、衆議院議員初当選。05年総選挙で748票差で惜敗するも、09年総選挙で再選。これまで法務委員会、文部科学委員会、農林水産委員会、郵政民営化特別委員会、環境委員会などに在籍。12年、自民党に復党し12月の総選挙で3選。同月に発足した第2次安倍晋三内閣で、外務大臣政務官に就任。平成25年10月、自民党外交部会長に就任。平成26年9月、外務副大臣就任。平成26年12月の総選挙で4選、外務副大臣留任。アジア大洋州局、欧州局、アフリカ局、広報文化組織、国際協力局、軍縮不拡散・科学部を担当。



▲天竜地区後援会のみなさんと

故郷の地
みんなと

第46回衆議院議員総選挙（平成24年12月16日） 静岡県第7選挙区 小選挙区開票結果

候補者名	党派	得票数	得票率
城内 実	自民	125,315	59.60%
斉木 武志氏	民主	40,452	19.24%
河合 純一氏	みんな	29,966	14.25%
落合 勝二氏	共産	7,413	3.53%
野末 修治氏	未来	7,105	3.38%

有権者数 327,416人 投票者数 214,087人 投票率 65.39%

第45回衆議院議員総選挙（平成21年8月30日） 静岡県第7選挙区 小選挙区開票結果

候補者名	党派	得票数	得票率
城内 実	無所属	129,376	52.09%
斉木 武志氏	民主	63,116	25.41%
片山さつき氏	自民	54,128	21.79%
竹内 隆文氏	幸福実現	1,764	21.79%

有権者数 326,020人 投票者数 250,190人 投票率 76.74%



▲第5回呉石文化展示会の女性スタッフのみなさんと



▲三方原神社例大祭にて



▲佐久間民話の郷イベントでゆるキャラ「さくまるくん」と



▲雄踏町の息神社にて

お問い合わせ

【浜松後援会事務所・自由民主党静岡県第7選挙区支部】
〒433-8112 静岡県浜松市北区初生町691-1
TEL (053) 430-5789 FAX (053) 430-5756
【国会事務所】
〒100-8982 東京都千代田区永田町2-1-2 衆議院第二議員会館623号室
TEL (03) 3508-7441 FAX (03) 3508-3921
E-mail : info@m-kiuchi.com URL : <http://www.m-kiuchi.com>



メール会員登録募集中！

城内みのるの最新の活動報告や、新聞・雑誌掲載情報などいち早くメールでお知らせしています！



アクセスはこちらから！

城内みのるホームページがリニューアルされました。是非とも一度ご訪問下さい！